

令和8年度（2026年度）

事業計画

学校法人 日本社会事業大学

目 次

第1 令和8年度（2026年度）事業計画の基本的考え方

- (1) 本年度事業計画と中期計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 目標設定の考え方とPDCA・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2 全学的な取り組み

- (1) 創立80周年記念事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 「社大未来ビジョン」の策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) カリキュラム改革等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) 志願者確保対策の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (5) 入試広報の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (6) オープンキャンパスへの取り組み強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (7) 公式ホームページの恒常的見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (8) 高大連携の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (9) 新教務システムの円滑な運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (10) 学生支援の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (11) 国際協力の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (12) 社会貢献事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (13) 危機管理体制等内部統制システムの整備・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (14) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化・・・・・・・・・・・・ 4

第3 各組織における取り組み

- (1) 学長室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (2) 社会福祉学部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (3) 研究大学院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4) 専門職大学院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (5) 通信教育科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 社会事業研究所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (7) 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (8) 子ども学園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

(9) 法人本部	8
----------	---

(参 考)

1 設置の場所	10
2 学生の修業年限・規模等	10
3 授与する学位	11
4 教育組織図	11
5 主要事業実施日程	12
6 令和9年度入学者選抜の実施	13
7 令和8年度学長室組織図	15

第1 令和8年度事業計画の基本的考え方

(1) 本年度事業計画と中期計画

本年度事業計画は、令和4年度より始まった第4期中期計画における5年目の目標と取り組みを定めるものである

(2) 全学的な取り組みと各組織の取り組み

本年度事業計画では、中期計画に盛り込まれた内容を全学的に取り組むべき事項と組織ごとに取り組むべき事項に大別し、それぞれ本年度中に実現すべき目標と取り組みを定めている

(3) 目標設定の考え方とPDCA

上記の目標には、定性的な目標だけでなく、なるべく具体的な内容を盛り込むとともに、その実績は毎年度の事業報告で評価・公表し、次年度以降の事業計画に反映させることによって、中期計画におけるPDCA(Plan Do Check Action)サイクルを完成させることとしている

第2 全学的な取り組み

(1) 創立80周年記念事業の実施

本年、本学は創立80周年を迎えることから、創立記念日の11月9日に、東京の「東郷記念館」を会場として厚生労働大臣をはじめ本学に縁のある方々を招待した記念式典を挙げる

また、これを機会に本学の歴史・沿革を広く国民・関係者に理解してもらうため「日本社会事業大学80年史」を編纂・公表するほか、記念シンポジウムの実施、記念ロゴの制定(制定済み)、記念寄付の募集等のさまざまな創立記念事業を実施する

また、創立80年以後の未来を見据えた本学のあり方を展望する「社大未来ビジョン」を策定・公表する

(2) 「社大未来ビジョン」の策定

ビジョンでは、改めて本学に与えられた社会的使命(ミッション)を再確認するとともに、未来を展望した本学の目指す教育、研究等の理念、方向性を明確化することを通じて、本学の認知度の向上と今後の本学の中期計画・事業計画の策定や教育・研究活動にあたっての指針とすることを目指す

(3) カリキュラム改革等

本学の教育機関としての一層の質の向上と魅力の発信のため、すでに実施している学科名称変更を引き続き、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとともにカリキュラムの抜本的見直しを行う

(4) 志願者確保対策の強化

志願者確保の観点からこれまで実施してきた各種入試制度改革の成果を改めて検証し、改善すべき点をさらに改めていくとともに、志願者確保にとって必要な入試広報、高大連携等に重点的に取り組む

(5) 入試広報の強化

別途策定した「学部広報計画」に基づき、オープンキャンパス、ホームページ、大学案内、高校訪問、車内(駅構内)広告、ウェブ広告等、多様な広報手段を用い、効果的な入試広報活動を行う

(6) オープンキャンパスへの取り組み強化

とくに、オープンキャンパスについては、参加者の5割近くが本学を志望するなど大きな成果を上げていることから、理事長を委員長とする「オープンキャンパス委員会」を中心に全学を挙げた取り組みを行う(今年度7回開催を予定)

(7) 公式ホームページの恒常的見直し

また、公式ホームページについては、受験生にとって本学の情報を得る最大のツールになっていることから、関係部局の協力を得て常に最新の話題、情報を提供できるよう恒常的な見直しに努める

(8) 高大連携の推進

高大連携については、社会貢献の一環として取り組むとともに、安定的な志願者確保の観点からも積極的に進めることとし、連携協定校を今年度中に10校程度まで増やすことをめざす

(9) 新教務システムの円滑な運用

今年度から新たに導入した新教務システムを円滑に運用し、教育環境の改善や各種教務事務の効率化を推進する

(10) 学生支援の強化

障害学生支援室を中心に、障害のある学生がより安全かつ安心して学生生活を送れるよう必要な環境整備に一層努めるほか、とくにメンタルヘルス上の問題を抱える学生のため、専門相談員によるケース・カンファレンス体制の一層の整備を行う

また、学内の各種サークル・ボランティア活動、大学祭等を通じた学生同士の交流の活発化や人間関係作りを支援する

(11) 国際協力の推進

海外へのスタディーツアー、環太平洋社会福祉セミナー、国際研究交流等を通じ、諸外国の大学、社会福祉関連機関等との交流及び協力をさらに推進する

(12) 社会貢献事業の推進

本学の社会貢献事業の一環として、清瀬市三大学連携事業「清瀬アカデミア」をさらに発展させるとともに、地元企業、商工会等とのより緊密な産学連携を進める

(13) 危機管理体制等内部統制システムの整備

引き続き内部統制システムの改善に取り組むとともに、とくにリスク管理に係る基本マニュアル及び危機管理個別マニュアルの整備を順次行う

(14) コンプライアンス・ハラスメント対策の強化

引き続き教職員を対象に対面型のハラスメント研修を行うほか、新たにハラスメント相談員を対象とした研修を実施するなど、ハラスメント対策を強化する

第3 各組織における取り組み

(1) 学長室

- ・社会福祉研修センターにおいては、国の制度改正の動向、受講生のニーズの変化を踏まえ、講師陣の一層の充実などを通じて、地方自治体職員向け研修をより魅力的なものとするとともに、受講生の新規開拓及び本学の他のリカレント教育プログラムとの一層の連携に努める
- ・未来ビジョン推進センターにおいては、DX時代の到来を踏まえ、福祉分野におけるデジタル化に対応した教育やリカレント教育のための体制整備の在り方について研究する
- ・多心型福祉連携センターにおいては、多様な主体が対等な立場で自発的に連携、協力、補完し合いながら地域社会が抱える福祉問題を解決しようとする取り組みのあり方を研究するとともに、地方自治体との連携を強化し、今後の人口減少社会における社会福祉のあり方を研究する
- ・昨年度まで農林水産省より助成を受けてきた都市農業推進地域支援事業を受け継ぎ、内外のボランティアの協力を得つつ新たな農的空間における世代間交流活動のあり方を研究する
- ・内部質保証に関するPDCA(Plan Do Check Action)の一環として、「自己点検・評価検討委員会」による令和7年度「自己点検・評価結果」のとりまとめ・公表を行う

(2) 社会福祉学部

- ・本年度実施した学科名称変更を引き続き、令和9年度実施に向け、コース制、資格課程の見直しを含めた現行カリキュラムの抜本的改革を行う
- ・卒業後の多職種協働を念頭に、サマースクール(清瀬市内明治薬科大学・国立看護大学校との合同プログラム)をさらに拡充する

- ・入学後、円滑に学修が開始できるよう、入学前セミナーを一層充実したものに
見直す
- ・社会福祉士等国家試験受験へのモチベーション向上にさらに努めるとともに、
合格率の一層の改善に向け、学内国家試験対策委員会、教職員が一体とな
り、質の高い国家試験対策講座の実施などアウトリーチ支援を強化する
- ・また、卒業時の国家試験不合格者に対しても、卒業後も引き続き所要の受験
情報の提供や模試・受験講座への参加機会の提供を行うなど必要な支援を
行う
- ・新たに導入した就職支援システムを活用し、新規求人や企業情報を効果的に
提供していくとともに、適格な進路・就職相談、公務員志望者向け試験対策、
SPI(適性検査)、プレゼンテーション面接対策講座、模擬面接等の充実を図っ
ていく

(3) 研究大学院

- ・本学研究大学院の大きな目標の一つである「Evidence に基づく政策形成へ
の貢献」を実現していくため、引き続き「福祉プログラム評価履修コース」の充
実に努める
- ・また、社会全体のデータ解析ニーズの高まりに呼応し、質的・量的調査法、分
析法に重点を置いたカリキュラムの拡充に取り組む
- ・また、通学や仕事との両立に困難を抱える院生のためにオンラインを活用した
授業等を拡充していくほか、他大学との単位互換の拡大の検討や本学専門
職大学院との連携強化に取り組む
- ・入学者数の確保に向け、外国人留学志望者に向けた新たな広報活動を行う
ほか、本学学部生や卒業生に対しても大学院プログラムへの体験参加や必
要な情報提供などを通じ大学院の魅力を積極的に伝えていく

(4) 専門職大学院

- ・教育・研究環境の改善を目指し、教室機材の整備を一層進めるとともに、遠方からの院生の便宜向上のためオンライン授業の拡大を図るほか、研究大学院との同時開講科目の増大を検討する
- ・本専門職大学院の魅力を広く発信するため、ホームページのほか、新たにインスタグラムを活用するなどのSNSの幅広い活用、福祉関連雑誌等への新規広告掲載など広報活動を一層強化する

(5) 通信教育科

- ・履修生の安定的な確保に向け、学部、大学院等との連携をも図りつつ、各種教育サービスの充実、学習支援体制の強化、入試に関する個別相談体制の整備など多面的な取り組みを行うとともに、広報活動を通じて他校にない対面授業の実施など本校独自の魅力をより一層アピールしていく
- ・また、社福一般課程の履修生を対象に、本課程を修了した社会福祉士のキャリアアドバイザーを配置し、自分自身のしごとの適性を考えるためのオンラインセミナー・相談企画を実施する

(6) 社会事業研究所

- ・学内・学外の共同研究や研究交流をさらに進めるとともに、その成果は学会誌等を通じ積極的に公表する
- ・文部科学省及び厚生労働省の科学研究費補助金、生活協同組合等助成金など外部資金の獲得に一層努める
- ・学内に設けた「学生研究活動補助金制度」を通じ、院生の「日本学術振興会特別研究員」への応募を支援する
- ・国際・アジア福祉研究教育センターを拠点とした環太平洋社会福祉セミナー、

国際研究交流会等の実施を通じ、より多くの海外研究者との交流を深める

- ・本学創立80周年記念事業の一環として、「本学紀要・大学創立80周年記念特集号」を公刊する

(7) 図書館

- ・卒業論文検索システム、図書情報システム、盗難防止システム等をより本学のニーズに適合したものに更新する
- ・引き続き、所蔵資料の精査と整理を進め、未整理資料等の再登録と登録情報の修正を行う
- ・地域に開かれた図書館を目指し、小中学生の総合学習、高大連携校生徒の受け入れを積極的に行う

(8) 子ども学園

- ・指定障害福祉サービス事業所として、適正かつ質の高いサービス提供体制を整備し、大学の附属実習施設として実習生を受け入れつつ、定員確保による安定的な事業・財政運営に努める

(9) 法人本部

- ・80周年記念事業

「80周年記念事業準備委員会」を中心に、記念式典の開催を含めた記念事業全体の円滑な実施に向け所要の準備を行う

- ・公式ホームページ

冒頭のメインビジュアル(動画)を更新するとともに、コンテンツについてはより本学の魅力が伝わり、また受験生がより関心を持つような内容に沿って

見直しを行う

・職員研修制度

職員の資質向上のため、Webによる階層研修の計画的な実施、研修機会の一層の拡大を図る

・専門業務型裁量労働制

勤怠管理など労務管理を円滑に行うため、教育職員について専門業務型裁量労働制を導入する

・施設・設備整備

令和8年度(2026年度)においては、主に国の施設整備事業として厚生棟外壁改修工事及び経営委託費の一部として新教務システムの更新等を行う(それぞれ、7年度の補正予算で約2億5900万円、9500万円が措置済み)

なお、今後は新たに作成した「中長期修繕計画」に基づき、安全面で緊急性の高い施設・設備、劣化の著しい冷暖房施設、老朽化した教室設備、照明のLED化、国際交流施設や学生寮の整備、ラーニングコモンズ等の整備を重点的に国に要望していく

・財政運営

近年の学部入学者や通信教育科履修生の減少、人件費、光熱費等の諸経費の上昇等のため、本学の財政事情は大変厳しいものがあることから、授業料の見直し、不採算部門の整理、諸経費の徹底的な見直しなど、歳入・歳出の両面で財政健全化に向けた取り組みを強化する

(参 考)

1 設置の場所

所在地	設置する学校等
東京都清瀬市竹丘三丁目1番30号	[清瀬キャンパス] 大学、大学院、通信教育科、社会事業研究所、附属図書館
東京都清瀬市梅園一丁目2番50号	附属実習施設子ども学園、寄宿舎（学生寮「松窓寮」）
東京都小平市花小金井四丁目39番10号	宿泊施設（招聘研究者用）
東京都文京区小石川五丁目10番12号	[文京キャンパス] 大学院（専門職）、各種講座

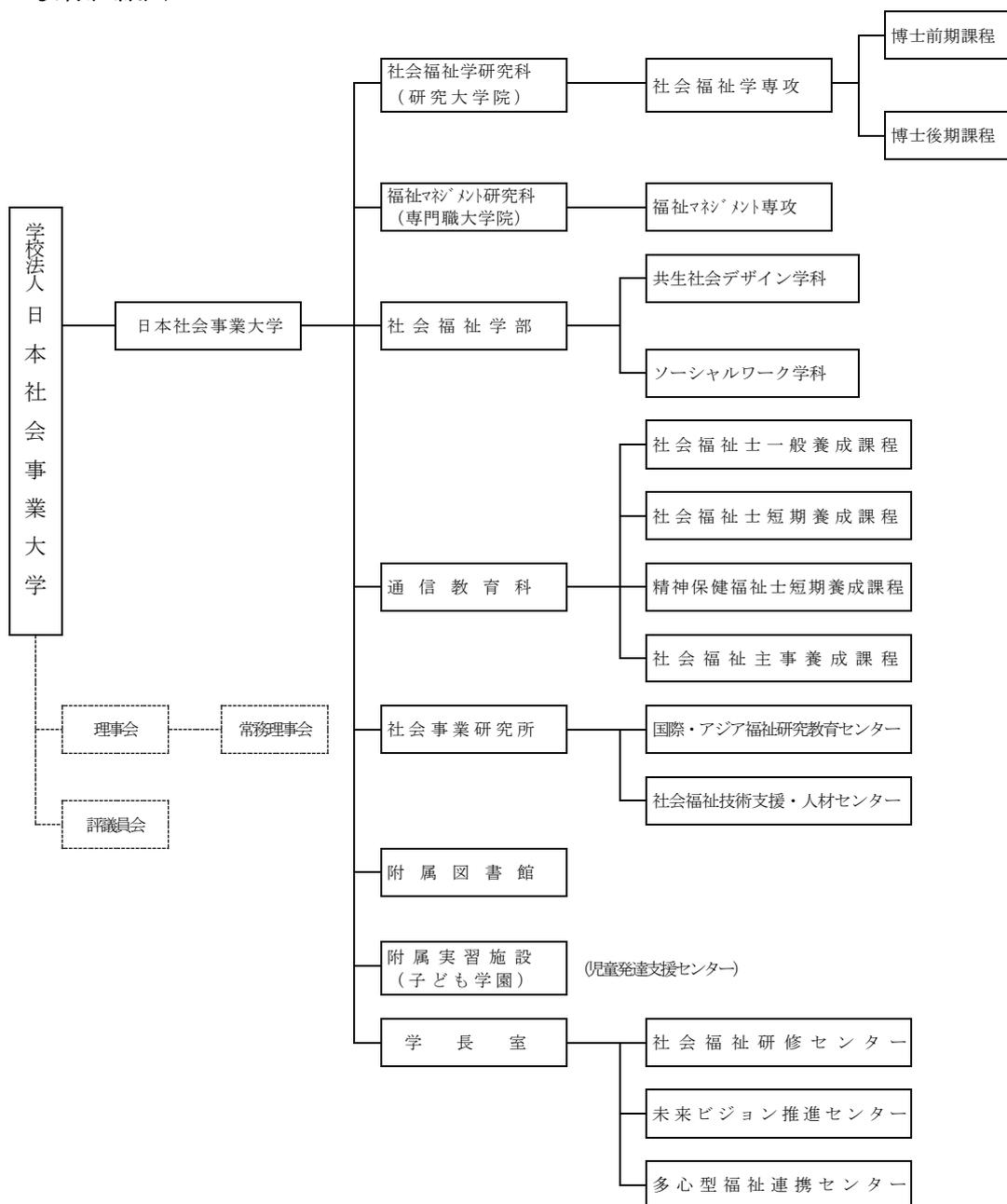
2 学生の修学年限・規模等

区分	学部・学科等		入学定員	修業年限	摘 要	
大 学	社 会 福 祉 学 部	共生社会デザイン学科	1年次入学	55人	4年	
			3年次編入学	10人	2年	
	ソーシャルワーク学科	1年次入学	105人	4年		
		3年次編入学	10人	2年		
大学院	福祉マネジメント 研究科 (専門職大学院)	専 門 職 学 位 課 程	50人	1年	※長期履修生は2年	
	社会福祉学 研究科 (研究大学院)	博士前期課程	15人	2年		
		博士後期課程	5人	3年		
計（通学制）			入学定員：250人（収容定員：775人）			
通信教育科	社会福祉士一般養成課程		360人	1年6ヶ月		
	社会福祉士短期養成課程		140人	9ヶ月		
	精神保健福祉士短期養成課程		150人	9ヶ月		
	社会福祉主事養成課程		500人	1年		
計（通信制）			入学定員：1,150人			

3 授与する学位

大学	社会福祉学部	学士（社会福祉学）	
大学院	福祉マネジメント研究科（専門職大学院）	福祉マネジメント修士（専門職）	
	社会福祉学研究科 （研究大学院）	博士前期課程	修士（社会福祉学）
		博士後期課程	博士（社会福祉学）

4 教育組織図



5 主要事業実施日程

日 程	事 業 事 項
令和8年 4月 4日 (土)	子ども学園入園式
(2026年) 4月 6日 (月)	入学式 (学部・大学院)
5月 下旬	法人監査
6月 中旬～下旬	評議員会、理事会 (事業報告・収支決算)
6月 27日 (土) ・ 28日 (日)	第63回社会福祉研究大会 (学内学会)
9月 24日 (木)	9月卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
9月 下旬	理事会 (職務執行状況報告)
10月 1日 (木)	全学防災・避難訓練
10月 3日 (土)	大学院博士前期課程第Ⅰ期入学試験
10月 8日 (木)	総合型選抜 第1次選考
10月 17日 (土)	総合型選抜 第2次選考
10月 24日 (土) 25日 (日)	大学祭
11月 7日 (土)	私費留学生選抜・3年次編入学選抜
11月 9日 (月)	創立記念日
11月 21日 (土)	学校推薦型選抜
12月 6日 (日)	専門職大学院第Ⅰ期入学試験
12月 中旬	理事会 (職務執行状況報告)
令和9年 1月 16日 (土) ・ 17日 (日)	大学入学共通テスト (会場：明治薬科大学)
(2027年) 1月 24日 (日)	専門職大学院第Ⅱ期入学試験
1月 下旬	第39回介護福祉士国家試験
2月 1日 (月)	一般選抜
2月 月上旬	第39回社会福祉士国家試験
2月 月上旬	第29回精神保健福祉士国家試験
2月 10日 (水)	大学院博士前期課程第Ⅱ期入学試験
2月 12日 (金)	大学院博士後期課程入学試験
2月 20日 (土)	専門職大学院第Ⅲ期入学試験
3月 6日 (土)	専門職大学院第Ⅳ期入学試験
3月 19日 (金)	卒業式・学位授与式 (学部・大学院)
3月 20日 (土)	子ども学園卒園式
3月 下旬	評議員会、理事会 (事業計画・収支予算)

6 令和9年度入学選抜の実施

項目		募集人員		出願期間		試験日	合格発表日	入学手続期間		
		共生社会 デザイン 学科	ソーシャル ワーク 学科	自	至			自	至	
社会福祉学部	総合型選抜	9名	16名	9月11日(金)	9月24日(木)	10月8日(※) 10月17日(土)	10月9日(金) 11月4日(※)	11月4日(水)	11月13日(金)	
	私費留学生選抜	若干名		10月1日(木)	10月13日(火)	11月7日(土)	11月18日(水)	11月18日(水)	11月27日(金)	
	学校推薦型選抜	指定校推薦	20名	40名	11月2日(月)	11月11日(水)	11月21日(土)	12月1日(火)	12月1日(火)	12月10日(木)
		公募推薦								
	一般選抜	15名	30名	1月4日(月)	1月22日(金)	2月1日(月)	2月5日(金)	2月5日(金)	2月19日(金)	
	大学入学 共通テスト選抜	前期日程	9名	16名	1月4日(月)	1月22日(金)	-	2月10日(水)	2月10日(水)	2月19日(金)
		後期日程	2名	3名	2月2日(火)	2月18日(木)	-	3月3日(水)	3月3日(水)	3月8日(月)
合計	55名	105名								

項目		募集人員	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続期間	
			自	至			自	至
大学院 社会福祉学 研究科	前期第Ⅰ期	20名	9月7日(月)	9月18日(金)	10月3日(土)	10月14日(水)	10月14日(水)	10月23日(金)
	前期第Ⅱ期		12月21日(月)	1月8日(金)	2月10日(水)	2月24日(水)	2月24日(水)	3月5日(金)
	後期課程		12月21日(月)	1月8日(金)	2月12日(金)	2月24日(水)	2月24日(水)	3月5日(金)
専門職 大学院 福祉マネジメント 研究科	第Ⅰ期	50名	11月2日(月)	11月16日(月)	12月6日(日)	12月16日(水)	12月16日(水)	12月25日(金)
	第Ⅱ期		12月14日(月)	1月4日(月)	1月24日(日)	1月29日(金)	1月29日(金)	2月8日(月)
	第Ⅲ期		2月1日(月)	2月12日(金)	2月20日(土)	2月24日(水)	2月24日(水)	3月5日(金)
	第Ⅳ期		2月15日(月)	2月26日(金)	3月6日(土)	3月6日(土)	3月6日(土)	3月12日(金)

項目			募集人員	出願期間		合格発表日	入学手続期間	
				自	至		自	至
通信教育科	社会福祉士一般養成課程	第1期	360名	10月1日(木)	11月30日(月)	12月23日(水)	12月23日(水)	1月20日(水)
		第2期		12月1日(火)	1月31日(日)	2月22日(月)	2月22日(月)	3月10日(水)
		第3期		2月1日(月)	2月19日(金)	3月8日(月)	3月8日(月)	3月18日(木)
	社会福祉士短期養成課程	第1期	140名	10月1日(木)	11月30日(月)	12月23日(水)	12月23日(水)	1月20日(水)
		第2期		12月1日(火)	1月31日(日)	2月22日(月)	2月22日(月)	3月10日(水)
		第3期		2月1日(月)	2月19日(金)	3月8日(月)	3月8日(月)	3月18日(木)
	精神保健福祉士短期養成課程	第1期	150名	10月1日(木)	11月30日(月)	12月23日(水)	12月23日(水)	1月20日(水)
		第2期		12月1日(火)	1月31日(日)	2月22日(月)	2月22日(月)	3月10日(水)
		第3期		2月1日(月)	2月19日(金)	3月8日(月)	3月8日(月)	3月18日(木)
	社会福祉主事養成課程	第1期	500名	10月1日(木)	11月30日(月)	12月23日(水)	12月23日(水)	1月20日(水)
		第2期		12月1日(火)	1月31日(日)	2月22日(月)	2月22日(月)	3月10日(水)
		第3期		2月1日(月)	2月19日(金)	3月8日(月)	3月8日(月)	3月18日(木)

学長室の組織概要

